

**APEC 地域のビジネス界のリーダー達は、
貿易及び経済成長を維持するための協調的政策を要請する**

2012年5月23日
クアラルンプール

アジア太平洋経済協力（APEC）の21ヶ国・地域を代表するビジネス界のリーダー達は、世界貿易が弱体化し国際経済の混乱が深まる事態に直面していることを受け、金融及びソブリンリスクと保護主義の高まりを防ぎ、堅固な成長軌道を維持するために断固たる措置を取ることを地域の首脳に要請する。

「2020年までに自由で開かれた貿易・投資を実現させるというボゴール目標まであと数年しかないことを考えると、APEC参加国・地域は、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）に向かって確実に実体的進歩を継続して行かなければならない」と2012年のABAC議長のジヤブディン・マゴメドフ氏は語った。

ABACは、主催国マレーシアにより懇切丁寧に説明にされた、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉の進展と地域総合経済連携のコンセプトの更なる発展を歓迎する。これらのイニシアティブは、FTAAPへの主要な道筋と考えられている。

また、ABACは地域統合を促進し経済回復を支える官民対話の重要性を強調する。我々は、安定的かつ効率的に資本市場が発展する中で官民協力ができるよう、アジア太平洋金融フォーラムの創設を要請する。

ABACの2012年のテーマである「熱意を現実に」は、特定の提言を反映しており、インフラの不備による運送・物流上の障害に対処するための官民協力を活用するものである。加えて、域内サプライチェーンの連結性と、重要性が増しているサービス業における貿易投資を強化するための実効性ある施策に、ABACは引き続き焦点を当てていく。

革新的成長を発展させるために、APEC参加国・地域間の技術格差を縮める手段を講じることをビジネス界のリーダー達は求める。その手段は、効果的且つ市場本位のイニシアティブを通して、技術の普及を促すことになる。

中小零細企業（SMME）は、金融市場へのアクセスを筆頭に数々の課題や障壁に直面して

いる。ABAC は能力構築イニシアティブの促進と ICT ツールのより幅広い使用を推進することを約束する。例えば、電子商取引プラットフォームや、海外市場情報を提供するポータルサイトなどである。

食料安全保障は、引き続き ABAC にとって優先課題である。ABAC は食料安全保障に関する政策パートナーシップ (PPFS) の開始を歓迎し、アジア太平洋における食料安全保障政策の実施を進め、且つモニターする。PPFS では、政府・ビジネス界・NGO が共に、食料安全保障の課題に取り組む。世界の食料供給と栄養能力の拡大、世界食料市場における価格変動の抑制、及び流通上の損失の削減などである。

ABAC は APEC エネルギー大臣が域内エネルギー安全保障の強化を進展させたことを称賛する。省エネルギーへの取組みの拡大や、クリーン及び再生エネルギー源の促進、天然ガスの使用を増加させること、エネルギー効率の向上、そして原子力エネルギーの安全性に関する協力を含む、エネルギー安全保障への多方向に渡る取組みを APEC 地域のビジネス界のリーダー達は支持する。

ABAC は、建設中及び再開発中の都市に、統合された社会的・環境的・経済的原則にもとづいて、生活都市原則を積極的に適用して行くことを支持する。

上記のアジェンダは、来週ロシアのカザンで行われる貿易及び食料担当大臣・高級実務者との協調的対話で更に議論される予定である。